

学校長が語る

ミッションの 「現在」と「未来」

〈前編〉

TOP MESSAGE

わかない時があるものです。そんな生徒たち一人ひとりに、複数の大人たちが目を向け、心を配り、思いを寄せることが大切です。そして、キリスト教を土台として人間性を育んできた本校にはそれを可能にする土壌があります。また、当然ですが、やさしく励ますだけでなく、生徒たちの心身を鍛えてあげることが不可欠です。子どもたちは、いずれ社会に出て自らの足で歩んでいかなければなりません。そのときに必要な力を身に付けられるように導くのも教師や学校の重要な役割だと考えています。

ミッションの学校改革とその成果

私が北陸学院高校の校長に就任して6年目になります。手前味噌かもしれませんが、これまでのよき伝統をふまえつつ、さまざまな改革を行ってきた結果、国公立大学への合格者数増加など、着実な成果が表れてきていることを実感しています。

どのコースにも共通する教育方針として、部活動や習い事、学校行事、ボランティア活動など、勉強以外の活動の場をもつ。勉強プラスもうひとつを薦めていることがあげられます。これは、好きなことに取り組み、自分の限界に挑戦できる最適な時期が中学・高校時代だと考えるからであり、時には仲間とぶつかりながらも何かを成し遂げた経験は、必ず彼らの後の人生に役立つと思っています。

が多いのも本校の特徴の一つと言えます。
生徒一人ひとりに目を向け、心を配り、思いを寄せる
教育の場としての本校のあり方を突き詰めれば、生徒一人ひとりを大事にするという姿勢を、生徒指導上も進路指導上も、人格形成上も徹底していくということなんだと思っています。

私が学校改革の主軸としているのは、「改革なき伝統は単なる形骸、伝統なき改革は根無し草」という言葉です。建学以来の伝統を大切にしながらも、常に挑戦者だという気持ちをもって時代に応じた変革を進めていくことで、これからも選ばれるに値する学校であり続けたいと願っています。

【後編(来月号)に続く】

Profile
1967年生まれ。七尾市出身。石川県立七尾高等学校卒。東京神学大学大学院修了。大学時代に約4年間、塾講師を務め、青少年教育への関心を深める。日本基督教団小松教会牧師(8年間)を経て、2005年より現職。



北陸学院中学校・高等学校校長

堀岡啓信

HIRONOBU HORIOKA

ミッションが進めてきた学校改革は、国公立大学や有名私立大学への合格など、優れた進学実績につながっている。改革のキーパーソンである学校長・堀岡啓信からのメッセージ。

子どもが通ってよかったと思える学校

ミッションという選択

「勉強プラスもうひとつ」で伸びる
学力と人間性

生徒にスポーツや学校行事など、その時期に
しかできない経験を積んでほしいというのが北
陸学院の基本的な考えです。効率的なカリキュ
ラムの授業で着実に次のステップへ進み、どの



コースの生徒も放課後は部活動や行事に取り
組む―教育方針の「勉強プラスもうひとつ」で充
実した時間を過ごし、個々に最適な受験スタ
イルで進学の夢を叶えた卒業生は、大学生活も生
き生きと楽しむことができます。

世界を知る

北陸学院では、国際理解教育にも力を入れて
います。全生徒を対象とした日常的な教育に始

まり、短期海外研修や400名以上の留学生を
送り出してきた長期留学、今後予定されている
海外への修学旅行(高校)など、北陸学院だから
できる国際理解教育も大きな魅力です。

生きるために大切なこと

今の混沌とした世の中で、豊かな人生を送る
ために必要な「生きる力」を身に付けるとき、重
要な役割を果たすのが、キリスト教教育を土台
とした心の教育です。毎朝の礼拝や学校行事を
通じ、生徒は生きるために必要な心の強さを自
然と身に付けることができます。



入試制度の多様化に対応

以前の国公立は共通一次、私立は指定校推薦
と一般入試という入試制度から、公募制推薦、
AO入試、一般入試、センター試験利用など、さ
まざまな受験スタイルを選択できる時代にな
りました。近年は、個々の資質や能力を評価す
る推薦入試へのシフトが加速しています。

ミッションでは、学力や適正に応じた3コース
を設定し、細やかな進路指導で生徒をサポート。
推薦にも強く、関西学院大学・青山学院大学をは
じめ、106大学400名以上(2010年現在)
の指定校推薦枠があり、2011年度からは、同
志社大学への15名程度の特別推薦制度もスタ
トします。さらに、総生徒数428名という規模
ながら、難関国公立大学、難関私立大学への一
般入試でも合格を果たした生徒も増え、一般入
試にも強い学校としても定着しつつあります。



●特別進学コース(文系・理系)

難関国公立大学への進学を目指して

一般入試で難関国公立大学を目指すハイレベルなコース。一人ひとりの実力に合わせた、難関大学合格への確かなサポート体制があります。AO入試や公募制推薦にも対応し、2011年度(現高校3年生)からは同志社大学への特別推薦制度がスタートします。

■2009年度の合格実績(すべて現役合格) ※中高一貫進学コース含む ※人数はすべて「のべ人数」

【国公立大学】金沢大(医薬保健学域) 新潟大(農)
【私立大学】京都産業大(文化) 京都女子大(文)2名 京都文教大(臨床心理) 武庫川女子大(文、薬)2名 関西学院大(文)3名
東京農業大(応用生物科学、農)2名 日本大(生物資源科学) 同志社大(文) 明治大(農)

●英理進学コース(文系・理系)

主に推薦を利用して難関私立大学を目指す

主に推薦入試で難関私立大学を目指すコース。関西学院大学や青山学院大学をはじめ、多くの指定校推薦枠があり、AO入試や自己推薦での合格者も増えています。センター試験利用入試にも対応が可能であり、法学部や経済学部のほか、理工学部に進学する卒業生も多くなってきました。留学志望者にもおすすめのコースです。

■2009年度の合格実績(すべて現役合格) ※人数はすべて「のべ人数」

【国公立大学】金沢大(人間社会学域) 新潟大(工) 石川県立看護大(看護)
【私立大学】北陸学院大(人間総合)3名 関西学院大(教育、人間福祉、理工)4名 神戸学院大(文)2名 国際基督教大(教養)
東京女子大(現代教養)2名 同志社女子大(表象文化、学芸)2名 日本大(国際関係) 学習院大(法)2名 京都ノートルダム女子大(人間文化)2名
同志社大(社会) 流通科学大(商) 日本女子大(理) 関西外国語大(外国語) 岐阜女子大(家政) 京都産業大(法)3名 仁愛大(人間生活)
日本女子体育大(体育) 桃山学院大(経営)2名 龍谷大(理工)4名 城西国際大(メディア) 北陸大(未来創造)3名
【短期大学】北陸学院大学短期大学部 日本歯科大学東京短期大学

●一般進学コース(文系のみ)

大学・短大・専門学校といった多彩な進路を選択

推薦入試で私立大学・短大を目指すならこのコース。「勉強プラスもうひとつ」を実現しながら、大学・短大・専門学校と多彩な進路に対応します。北陸学院大学への進学体制も整っており、特別推薦枠があります。また、MCAS検定・英検・漢検・秘書検など、将来に役立つ資格の取得をサポートします。

■2009年度の合格実績(すべて現役合格) ※人数はすべて「のべ人数」

【国公立大学】石川県立看護大(看護)
【私立大学】北陸学院大(人間総合)3名 大阪国際大(国際コミュニケーション) 岐阜女子大(家政) 京都ノートルダム女子大(心理)
神戸松蔭女子学院大(文) 仁愛大(人間) 北陸大(未来創造)3名 金沢学院大(美術文化、文)3名 金城大(社会福祉) 多摩大(経営情報)
星稜大(経済) 麻布大(環境科学)
【短期大学】北陸学院大学短期大学部9名 神戸大手前短大 聖母女子学院短大 星稜女子短大

2010 OPEN SCHOOL — 体験入学のご案内 —

下記参加お申込みは、各小中学校より配布のハガキか
FAX、電話、本校ホームページよりお願いします。

北陸学院高等学校(3年制) 2010年7月29日(木)

●対象/中学3年生の男女生徒とその保護者 ●ところ/金沢市飛梅町1-10
(お問い合わせ)TEL.076(221)1944

北陸学院中学校(中高一貫6年制) 2010年6月12日(土)

●対象/小学5・6年生の男女児童とその保護者 ●ところ/金沢市飛梅町1-10
※4年生以下の児童ならびに保護者のみの見学もできます。
(お問い合わせ)TEL.076(262)3012

公立高校の負担軽減額と同額を支給
平成22年度から、公立高校無償化・高等
学校等就学支援金制度が始まります。
この制度では、公立高校の負担軽減額
と同額が私立高校にも支給されます。
※詳細については、文部科学省ホームページをご覧ください。